

地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会（第42回）の概要

1 開催日時

令和5年7月24日（月） 10:00から11:20まで

2 開催場所

山口県庁本館棟4階 共用第4会議室

3 出席者

評価委員会委員： 4人
事務局： 4人
法人： 13人

4 内容

(1) 県健康福祉部理事挨拶

(2) 議事

① 委員長選出

② 令和4年度における法人の業務の実績に関する評価について

③ 第3期中期目標期間における法人の業務の実績に関する評価について

(3) 報告

山口県立総合医療センターの機能強化について

- ・ 事務局から資料1～資料2、参考資料1～3について、法人から資料3～資料5について説明

主な質疑応答・意見

〔●委員 □法人〕

- 令和4年度の総合医療センターにおける目的積立金について、機器等と比較して、医療従事者等確保に充てる金額が少ないと感じる。もっと増やしてもよいのではないか。
- 令和4年度の執行額については、決算承認日以降の9月以降から3月までの半期分の実績となるが、令和5年度については、年間を通して執行が可能であり、支出対象も増やしているため、より人材確保に貢献できるものと考えている。
- 病院全体の決算見込みについて、収益の伸びに比べて費用の伸びが大きい理由は何か。
- 光熱費や物価高騰による材料費の増加に加え、機能強化を図るための人件費等が増加したことによるもの。

- 医療従事者確保について、看護師の離職率は新人に限らず高いと思うが、どのように取組を評価しているのか。
- 総合医療センターにおける看護師の離職者は、専任で新人等の指導を行う看護師の配置や、メンタルフォローとして定期的な面談などの実施により、全体で減少傾向にあり、成果に繋がっているものと考える。

- 先進医療等への取組も大切なものであるが、そういったところばかりにとらわれず、まずは患者のことを思い、大切にす病院体制にしたい。
- 患者とコミュニケーションを取りながら、患者の想いを尊重し、全体に還元できる環境づくりに努めるとともに、看護部を中心として、患者に寄り添った接遇の実践に取り組んでいる。また、多職種で連携したチーム医療の実践を通じて、患者や家族のニーズに応じられる体制の構築に努めている。

(4) その他

- ・ 次回の評価委員会は、8月8日（火）の午前10時から開催する。